

【来場者との意見交換】

Kさん： 大豊町に越して来て4年近くになります。こちらに越して来る時に、家のことですごい苦労をしましたが、その時に大豊町の職員さんにいろいろとよくしてもらいました。とっかかりというのは、地域の方に求めるのも必要ですが、その門を叩いていただくのは、やはり行政の方に先に行っていたきたいです。知事さんをはじめ県庁の方々、市町村長さん、議員さん、それから職員の方々皆が一丸となってやっていただきたいと思います。

もうひとつ、道路のことなんですが、高知県を一步出ると道路はすごくいいのに、高知は、特に大豊は道が悪いです。怒田のEさんがおっしゃったように、住みたいと思ってもそれで敬遠される方も多々あると思いますので、知事さんにはよく考えてもらって、頑張ってもらいたいと思います。

知事： ありがとうございます。さっき申し上げましたが、ネットワークだけにお任せするというのではなく、行政も連携してやっていくことが非常に重要だと思います。

県でも、去年1年かけてシステムを作り、今年度回し始めました。そうしたら、相談件数がぐっと増えてきて、手ごたえというかそういうものを感じているところですが、今、いろいろとご意見をいただき、さらに改善すべきところもあると思います。

今回のご意見を生かしてやっていきたいと思います。

道の話は、努力をします。この道の悪いことには私も怒りを覚えており、思いは共有していますので、またどうぞよろしくお願ひしたいと思います。

Lさん： 本山町にあります、ぼうむ合同会社のLと申します。

私も4月から嶺北住まいを始めた、移住者です。今日のお話を聞いて、非常にすごいなと思いましたが、ネットワークで移住をして、仕事ということを考えた時、就農とか自営というかたちに限られているのかなと思いました。就農にしても、自営にしても高リスクだと思います。移住者を増やそうと思えば、低リスクの方がいいと思うので、そうなると、どこか働くところが必要になってきます。気軽に働けるような環境ができれば、もっと移住者は増えて来ると思います。

我々「ぼうむ」の活動というのは、ネットワークと同じ嶺北の活性化ということで、雇用の創生ということをテーマとしてあげています。そういう意味で、ネットワークとは、目的を同じとする組織として横つながりというか、同じ嶺北の中で、交流を深めさせていただければと思っています。よろしくお願ひします。

知事： 低リスクで仕事ができる場があることが大事というのは、おっしゃるとおりだと思います。問題は、仕事を創り出していくことがいかに大変かということです。だ

から、産業振興計画、地域アクションプラン、これは地元の良い素材を生かして、それを事業に発展させていこうとするものですが、「ぼうむ」さんも地域アクションプランの事業として取り組んでいただいていますよね。そうやって雇用を少しずつ増やしていこうとしています。

いくら低リスクだといっても、仕事があれば何でもいいというのでは、町の将来をだめにしてしまいますので、高知県の良さを生かした取り組みを、我々も応援というか一緒にやらせていただきたいと思います。

Bさん： 仕事のことですが、もちろん「ぼうむ」さんとか、ある程度法人的な活動をされているところをもっともっと振興させていくというのもすごく必要だと思うんですが、やはり移住をされる方は、自分で何かされる人がすごく多いです。個人ですけれども、内容はすごく良いものが多いので、法人でなくても支援をお願いしたいと思います。

知事： 県などの補助金というのは、もともとは法人じゃないと出せない仕組みだったんですが、産業振興計画とか地域アクションプランをやるにあたって、最終的に力になるようなことをしないと経済の本当の振興は得られないんじゃないかということで、いろいろな審査はかなり厳しくするけれども、それを乗り越えていただいたら、あとは個人の方でも補助金を出すという仕組みに、今してまして、これでも他の県に比べればかなり幅広いと思うのですが。

Bさん： このあたりに住むとなったら、団体でやることさえ難しいことがありますので、ひとつひとつの仕事は小さいかもしれませんが、それでも3人、5人、10人雇える仕事に、20人、30人となっていく可能性もあると思いますので、いろいろな面でサポートがあればすごくありがたいと思います。

知事： 人材育成とか、アドバイザー派遣とか、そういうソフト面は間違いなくできるころはあると思います。そこから先は、今すぐ即答できませんが、考えさせてください。

Mさん： スギ・ヒノキの山ばかりというお話もあったんですが、これをもし切ったら補助金を出すというような制度を作れば、広葉樹林になって保水力も高まり、猪や猿が山で住める環境づくりもできるので、そういう制度を作ったらいいのではないのでしょうか。

知事： 今ある人工林を広葉樹にかえるために、あえて伐採してということは多分ないの

だろーと思ひますが、例えは、林業をやつていて、その結果として切つて、その後の山の利用方法をどうするかといつた時に、地元の皆さんとも話しをしていきながら、広葉樹林にすることを選擇する場合もあると思ひます。

ただ、直接支払いとか補助金というお話ですが、より根本的なことは、いかにして山の木をしっかりと金にかえて、林業が生業として成り立っていくようにするかということかと思ひます。